

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)		コンビニ(店長)	来客数の動き	・雪がなくなり気温も上がっているため、来客数が伸びてきている。また、桜の開花が早まったお陰で4月後半の売上も増加している。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・なかなか暖かくならずに春物は苦戦していたが、ようやく気温も上がり、来客数も増えてきている。
		旅行代理店(店長)	販売量の動き	・国内の団体旅行、個人旅行商品が好調である。特に、北海道方面、大型レジャー施設商品がけん引している。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・一部ではあるものの、物販、サービス、飲食店から明るい声を聞いている。一部のサービス、飲食店では、購入単価の下落や従業員の確保難による時給アップの話もあるが、全体的には来街者数増加の恩恵に浴しているようである。特に平昌オリンピック金メダリストの凱旋パレードの効果は、近くの商店街として大きな効果がみられている。
		一般小売店[酒](経営者)	販売量の動き	・桜の開花と道の駅のオープンが重なり、道の駅では平日でもにぎわいが絶えることがないため、販売量も増えている。また、近隣の飲食店においても相乗効果で販売量が増加している。
		一般小売店[寝具](経営者)	販売量の動き	・単発の新築住宅用カーテンの受注があり、売上は伸びている。ただし、メインの寝具、布団作りの個数は確実に減少している。
		百貨店(営業担当)	単価の動き	・気温の変化が大きかったため、衣料品を中心に好調である。特に1人当たりの購入単価が上がっており、消費行動の動きが良くなっている。
		スーパー(総務担当)	販売量の動き	・1品単価は下がっているが、それ以上に販売点数が伸びているため、売上が前年を上回っている。
		スーパー(営業担当)	販売量の動き	・天候が良いため、飲料、酒の販売量が伸びている。また、客単価も前年比103.6%と好調に推移している。
		その他専門店[白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・各企業とも新卒採用をしているのか、新入社員用の追加発注が多くなっているように見受けられる。
		タクシー運転手	販売量の動き	・以前より人の流れが多くなっている。
		観光名所(職員)	販売量の動き	・ゴールデンウィークは天候にも恵まれて順調な滑り出しとなっている。来客数もかなり増え、買物においても土産に加えて自分のものを購入するなど、購入点数が1~2品増えている。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・気温も上がり、外出を控えていた客が戻ってきている感がある。
		遊園地(経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの動向次第ではあるものの、イベントの実施もあり、前年をある程度上回りそうである。
		競艇場(職員)	来客数の動き	・来客数の増加に加えて、客単価も多少増加している。来客数は天候に左右されることが多く、雪がなくなったことが良い方向に影響しているとみている。
		その他サービス[自動車整備業](経営者)	お客様の様子	・新年度に入ってから新しい案件の発生も多く、受注も好調である。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・好天、雨天の違いによる来客数の増減幅が、今まで以上に大きくなっている。好天時の暖かさにより春物需要が増え、非常に良い販売量となっている反面、それ以外の天候時は余り伸びていない。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・寒波により減少した来街者数が、春になって前年並みに戻ってきている。地元商店街では日本人メジャーリーガーの活躍が明るい話題となっているが、消費回復には至っていない。
		一般小売店[医薬品](経営者)	お客様の様子	・外からは繁盛している様子にみえた飲食店が閉店してしまっている。バーのママさんなども客が来なくて非常に困っていると話している。
		一般小売店[医薬品](経営者)	来客数の動き	・来客数は少しずつ減少している。人口が減少していることもあるが、天候にも左右されている。ただし、客単価や購入点数は上向きになっている。
	一般小売店[カメラ](店長)	販売量の動き	・低額商材は厳しい状況が続いているが、若干の動きが出ている。また、春の撮影シーズンが始まり、高額商材の動きが良くなってきたことで、売上を確保している。	

百貨店（売場主任）	お客様の様子	・天候の影響により多少の変動はあるものの、購買動向としては依然として節約志向がみられており、低単価商材へのシフトや購入点数の低下に表れている。地域経済をみても、人口減少や高齢化など、外部的なプラス要因は見当たらない。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・4月は新生活など世の中が動く月であるが、景気への影響は余りみられていない。
百貨店（買付担当）	お客様の様子	・天候が悪いと来客数が大きく減少し、天候が良くなれば売上が伸びるなど、相変わらず天候に左右される状況が続いている。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・食料品において、必要なもの以外買わないシビアな消費動向が見受けられる。また、ここまでけん引してきた宝飾品、時計などの高額商材の動きも鈍くなっている。
スーパー（経営者）	単価の動き	・4月の平均1品単価は、ほぼ前年並みで推移しているものの、購入点数、来客数共に前年割れが続いている。そのため、消費の傾向はほとんど変わらない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・年明けから来客数の低下傾向が続いている。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・平昌オリンピック金メダリストの凱旋パレードの影響により、直前まで前年比マイナスであった売上が何とか前年を上回っている。ただし、これは特別要因であるため、今後に影響はないとみている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に前年並みで推移している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競合他社の出店攻勢が進む現状において、エリアによっては来客数減少、転換店舗の来客数増加がみられるものの、全体的には変わらない状況が続いている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・制服に関しては、公立高校が減少したものの、私立高校が伸びたため、全体的には微増となっている。また、進学や就職者向けの寝装品にも動きが出てきている。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・気温の上昇により半袖商品の立ち上がりがあった反面、春物商戦が短くなっている。さらに、以前よりも価格にシビアな客が増えてきている。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年並みで推移しているものの、スーツを購入する客が減少しており、客単価が低下している状態が続いている。
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・購入点数は前年を若干上回っているものの、来客数及び客単価は下回っているため、予算を達成できていない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・春になって販売量が増える時期であるが、個人客の動きが鈍い。
乗用車販売店（本部）	販売量の動き	・イベントを開催したものの、来客数は平年並みであり、販売量もほぼ横ばいで推移している。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注量、売上共に3か月前と変わらない状況である。
住関連専門店（経営者）	単価の動き	・今月は販売量及び来客数が非常に多かったものの、売上単価が低く、景気が良いとまではいえない。
その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・4月の飲食店の動きが年々悪くなってきている。そのため、地元以外の地域での販売と専門店向けの特定商品に軸足を移す方針を取っている。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・例年に比べて早く気温が上昇したため、石油業界にとっての利益源である暖房用の燃料の販売量が20%弱落ち込んでいる。当然ながら利益も落ち込んでいるため、収益面で厳しい条件がここ2～3か月続いている。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	お客様の様子	・年明け以降、好調な状態が続いている。客の購買意欲も順調のまま推移している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比較して、来客数の動きに変化がない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・日によって来客数に大きな差が出ており、平均すれば低空飛行のまま推移している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・日によって来客数の動きにかなりの差が出ており、安定していない。今月前半は余り良くなかったが後半に回復したため、平均すれば余り変わらない状況である。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・月全体で見ればそれなりであるが、相変わらず好不調の波が激しく、実際はよく分からない状態である。

一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・歓送迎会シーズンに伴い、地元客の宴会は例年どおりである。ただし、予約のない客は仕事や観光で来県した人達が圧倒的に多い。地元の人が動かないということは、経済的に余裕がないということである。そのため、いつもと変わらない状態が続いている。
観光型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・全体的な数字は前年並みで推移している。
観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・天候が良くなったことで人の動きが出てきているものの、宿泊状況は例年と変わらない。
観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・旅行会社窓口及びネット予約に関しては前年並みの申込みとなっているものの、直接予約に関しては、前年の半分に落ち込んでいる。原因としては、前年より1,000円増して販売を行ったことによるものとみている。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新年度に入っても、一般宴会、婚礼部門の動きが鈍い。好調なのは宿泊のみであるが、台湾からのインバウンド客頼みとなっている。県や市の誘致の成果ではあるが、いつまで続くか不安である。
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊は団体客の予約で好調であり、宴会関係も前年を維持している。ただし、県外から多くの観光客でにぎわう花見の名所で、桜の見頃が短かった影響もあるのか、レストラン関係は前年を下回っている。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・個人旅行の予約状況は良かったが、ここきて鈍化しており、前年同様の数字になっている。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・ここ2～3か月において、特に大きな変化はない。今後は5G回線のための設備投資と格安端末の競争が始まるが、市場は様子見の状態である。
通信会社(営業担当)	単価の動き	・各企業では商品の値上げが続いている。給与は横ばいのため支出が必然的に多くなっており、景気は横ばいの状況となっている。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・売上の動きに、大きな変化がない。
美容室(経営者)	来客数の動き	・新規客の来客数、再来店率共に前年比80%で推移している。新規客が増えない状況が続いている。
美容室(経営者)	単価の動き	・ヘッドスパなどのオプションメニューを希望する客が少しずつ増えてきている。
美容室(経営者)	競争相手の様子	・前月は少し良かったが、4月に入り来客数はいつものとおり少なくなっている。
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・依然として契約までの期間が長く、少額の案件が多い。
その他住宅[リフォーム](従業員)	販売量の動き	・システムコンロなどガス器具の交換工事は増えているが、大型のリフォーム工事につながる問合せが減っている。
商店街(代表者)	単価の動き	・新学期になり来客数が増えたものの、ついで買いが少なく、売上につながっていない。
コンビニ(経営者)	来客数の動き	・新学期となったが、来客数が少なくなっている。
コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・来客数が前年と比較して4ポイント減少している。特に夕夜間の来客数減少が著しく、客単価の低下にもつながっている。
コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・3～4月の気温の上昇により、桜祭りの期間が例年よりずれてしまい、北東北に影響が出ている。
衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・月後半に気温が上がり春めいてきたものの、来客数は一向に増えていない。単価は前年並みであるが、販売量の減少により売上は前年を5%下回っている。
家電量販店(店長)	来客数の動き	・冷蔵庫などの販売量、単価が下がっているなど、白物家電が不調であり、前年を下回っている。全体的に白物家電の買換え需要が減退している。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・年間最大の需要期が終わり、例年同様に市場動向が徐々に下降傾向にある。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・少子高齢化や若年層の車離れにより、市場の縮小化が顕在化している。
住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数がかかり減少しているため、売上に大きく影響している。
その他専門店[靴](従業員)	販売量の動き	・寒暖差が激しく本格的な春物商戦という雰囲気ではない。そのため、客もまだ買わなくても良いと思っている様子がうかがえる。
その他専門店[ガソリンスタンド](営業担当)	販売量の動き	・気温の変動や天候不順などにより、桜の行楽シーズンも需要が増えず、販売量は前年以下となっている。

	高級レストラン (経営者)	お客様の様子	・客からは余り良い話を聞かない。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・レストラン、宿泊といった個人利用部門の来客数が、前年同時期と比べて減少気味である。
	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・新生活応援キャンペーンを展開しているが、申込みや相談のために店頭や量販店のカウンターへ足を運ぶ人が少なくなっており、新規客の加入速度にブレーキがかかっている。また、電話の申込みも減少している。
x	一般小売店[書籍] (経営者)	販売量の動き	・3~4月の新学期需要において、全国的な傾向として辞典の需要が極端に悪い。また、具体的にどのジャンルが売れるのか予測できない。
x	一般小売店[医薬品] (経営者)	来客数の動き	・前年12月から来客数の減少が続いており、回復の兆しが見えない。
x	スーパー(経営者)	競争相手の様子	・同業他社以外に、最近ではドラッグストア、コンビニのオープンが相次いでおり、食品を扱う店舗が増えている。
x	スーパー(店長)	お客様の様子	・今年に入ってから売上が下降傾向にあり、3月が87.7%と異常に悪い数字となっている。4月は93.4%ではあるものの、まだまだ上向きとはいえない。
x	スーパー(営業 担当)	来客数の動き	・前年春以降、エリア内に競合他社の新規出店が続いており、チラシ日替り価格の強化、ポイント、クーポンなどの販促競争が今までにないレベルで行われている。また、ドラッグストアの出店も相次ぎ、ドライグロサリー商品を中心に廉売合戦に拍車がかかっている。現状は各企業の体力消耗戦となっており、企業規模を問わず業績は悪化している。
x	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・スーツや礼服の購入目的での来客数が伸びておらず、大苦戦をしている。
企業 動向 関連	-	-	-
(東北)	出版・印刷・同 関連産業(経 理担当)	受注量や販売 量の動き	・3か月前は売上が前年比90%と落ち込んでいたが、今月は前年並みに回復している。
	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売 量の動き	・東京オリンピックに向けて、光学業界の新製品投入が活発になっている。
	輸送用機械器具 製造業(経営 者)	受注量や販売 量の動き	・川下企業における各種センサー生産量増加に伴い、関連部品の受注が旺盛である。
	建設業(従業 員)	受注量や販売 量の動き	・大型公共工事の業者決定により、一部の事業者の景気は上向き傾向にある。
	経営コンサル タント	取引先の様子	・春を迎えてから、雑貨、食品を扱う小売業では販売額が増えている。
	農林水産業(従 業者)	それ以外	・前年の果物農家の収入は例年より10~20%の減少となっているものの、一部で生産資材の購入が散見されている。
	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売 量の動き	・平昌オリンピック金メダリストの凱旋パレードにより大きく売上が上昇した日もあったが、全体的には週によって好不調の波がある状態が続いている。
	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売 量の動き	・平昌オリンピック金メダリストの凱旋パレード効果もあり、地元駅周辺店舗の売上は良いものの、郊外店舗は苦戦している。
	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売 量の動き	・受注量、販売量共に前年割れが長期間続いており、3か月前と比べても悪い状況に変化はない。
	出版・印刷・同 関連産業(経営 者)	受注量や販売 量の動き	・通常であれば印刷業にとっての繁忙期であるが、いつもより早く終了している。また、客の様子からも景気に陰りがみられている。
	窯業・土石製品 製造業(役員)	受注量や販売 量の動き	・震災復興需要がピークを過ぎ、被災地以外でも公共工事が減少している。
	電気機械器具製 造業(企画担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・製品の市場価格が安定しており、業績も好調を維持している。大きな変化はないが、周囲の景気は良いとみている。
	建設業(企画担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
	輸送業(経営 者)	受注量や販売 量の動き	・業種により好不調はあるものの、全体的にはバランスが取れており、収入は安定している。
	通信業(営業担 当)	取引先の様子	・新規客が増えつつあるものの、他社に切り替えてしまう客もいるため、一進一退という感が否めない。
	通信業(営業担 当)	取引先の様子	・設備投資より経費削減に重きが置かれている。

	通信業（営業担当）	取引先の様子	・3月は年度末で受注量は増えたが、4月は前年並みとなっている。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・企業成績は良くなってきており、法人預金残高は増加している。また、融資を一括返済する企業も出ている。
	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・年度初めのため、企業は例年広告費を抑え気味にスタートするが、今年は更に状況が悪化している。特に新聞広告は前年の売上を大幅に下回っている。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度初めで仕事は動いているものの、特段増えているという印象は薄い。
	公認会計士	取引先の様子	・製造業及び建設業関係は、売上、利益共に前年を下回っているものの、一定の利益は確保している。ただし、小売業及びサービス業は売上、利益共に減少傾向であり、赤字企業も出ている。
	その他非製造業 [飲食料品卸売業]（経営者）	それ以外	・地元では東日本大震災のダメージの影響がそのまま不景気という形で現れており、営業利益が出るほどの利益とまらない状況が続いている。特に中小企業が潤うような施策が欲しい。
	農林水産業（従業者）	それ以外	・春先の気温上昇で大雪による春作業の遅れも解消されたかと思っただが、ここに来て、低温と降雨が続き、果樹の受粉や育苗に影響が出ている。
	木材木製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・業界全般的に受注量は鈍化傾向にある。住宅着工件数などの周辺環境からも、良い材料は見当たらない。
	金融業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・製造業の企業業績判断指標において、生産高、操業度は4半期ベースで2期連続低下している。また、全産業計で売上高、出荷高も低下している。一方、建設業の受注高は期末需要もあり前期比で上昇している。
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・メイン商品である複合機の販売台数が10～15%程度落ちている。また、売上、利益共に10%ほど減少しており、非常に苦戦している。
	その他企業[企画業]（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の特徴として、4～9月の上半期は売上が少ない時期である。前年度受注案件の実施検討を行っているため忙しいものの、景気が良いとはいえない。
	x	*	*
雇用 関連 (東北)	-	-	-
	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・この時期に新卒採用活動をしている企業は、ほとんど中途採用をしないが、建設業や飲食店などの企業は、新卒の採用活動をしながらか中途採用も行っている。企業の採用意欲の高さがうかがえる。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・組織体制の変動や新卒の受入れによって、4月上旬は動きが鈍かったものの、中旬以降は、組織変動に伴っての中途採用の求人が増え、好調な状況が続いている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・人手不足を背景に、給与を増額するなど労働条件の向上に取り組む企業が増えている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年同月比で増加している。
	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・有期雇用者の無期転換問題に伴い、3月末契約終了が例年になく増加している。一方で、企業の大口契約や地元への新規進出企業案件を受託している。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数は減っていないものの、求人とのミスマッチが多い。求職者が待遇や働き方などを高望みするケースが増えている。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・採用難易度が高く、企業の採用意欲が上昇しない。新卒市場も、競争激化から中小企業の採用活動領域を大手が侵食する形で悪い影響を与えている。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求人に対して、求職者の動きが鈍い。
	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・前年と比較して、仕事量にそれほどの変化がない。
	新聞社[求人広告]（担当者）	周辺企業の様子	・人材獲得意欲が高く処遇面でも勝る首都圏企業への人材流出に歯止めが掛かっていない。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・多くの業種において人手不足感が強いものの、業況に大きな変化はみられていない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は高水準で推移しており、3か月前と比較しても特に大きな変化がない。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・有効求職者数、有効求人数共に増加しているものの、前年同月比では減少している。また、就職者数も増加しているが、前年同月比では15%減少している。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・この時期は、新卒採用や部署配属などにより、派遣ニーズに一服感がみられている。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・依然として求人数の動きが悪い。来春の新卒募集状況において東北の主要企業は求人を増やしたいと考えているものの、首都圏への人材流出が止まらず、結果として中小企業には諦めムードが漂っている。
x	-	-	-